

国際広報メディア・観光学専攻

観光創造研究コース

令和6年度
後期

日本語論述

10:00～12:00

解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
2. 問題紙はこの紙を含めて2枚ある。
3. 解答用紙(25字×40行=1000字)は2枚ある。
4. 解答用紙は2枚とも必ず提出すること。
5. 受験番号はすべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
6. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
7. 下書き用紙は別途配布されるが、問題用紙の余白を下書きに使用しても差し支えない。
8. 問題紙および下書き用紙は持ち帰ること。

以下の問題について、1600～2000 字の日本語(横書き)で記述しなさい。なお、適当な箇所で改行して段落に分けること。また、字数は改行のための空を含めて計算する。

農山漁村をデスティネーション（観光目的地）とする旅行行動は、欧州のルール・ツーリズムやアグリツーリズムと同様に、日本においても近年注目される旅のカテゴリーに位置付けられるようになった。地方創生の柱を観光が担い、訪日外国人の関心も「日本の田舎」に向けられていることや、関係省庁が農山漁村滞在型の観光を後押しする政策を展開していることを踏まえれば、農山漁村のデスティネーションとしての価値の創出は必須であろう。

そこで、農山漁村はデスティネーションとしてどのような価値創出の可能性を有するのか、またデスティネーション化するにはどのような課題や留意点があるのかについて、あなたの考えを、具体的な例を示しながら論理的に述べなさい。